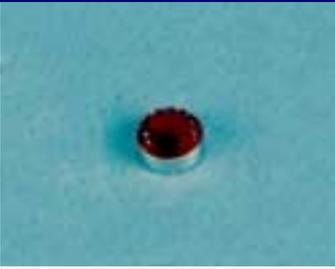


カスタム設計トランスミッター

一部のアプリケーションでは、トランスミッターをシャフト表面以外の場所にインストールする必要があります。シャフトエンド、シャフトボアの内側、内燃機関ピストンの中などは、ほんの数

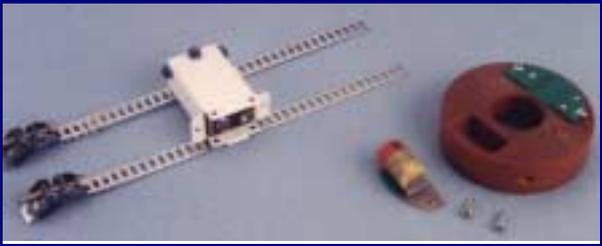
例にすぎません。このような状況では、アステック社は標準トランスミッター回路設計を要求された形態のハウジングにパッケージ化します。

			
厚さ 6mm の特殊分割スリーブハウジング内の TX16D/4/IFM トランスミッターの 3 歪チャンネルバージョン	シャフトボアインストール用 TX22D/8/IFM トランスミッターの 8 熱電対チャンネルバージョン	TX20B/1/IRC の超小型バージョン。9 × 18mm 径。重量 5g。ターボ過給機研究	産業用ガスタービンカップリングへ組み込まれる 2 台の TX20B/1/IRC トランスミッター。1 チャンネル当たり帯域幅 DC-10kHz
			
トルクトランスデューサ組み込まれる TX20B/1/IFM トランスミッター。航空機発電機テストリグ。12,000 RPM、120°C	ピストンにインストールされる TX22D/8/IFM トランスミッターの 7 熱電対チャンネルバージョン。誘導電源方式	特殊ハウジング内のツイン温度チャンネル TX6D トランスミッター。35,000 RPM で回転するベアリングテストリグ	接続ロッドにインストールされる TX20B トランスミッターのカスタムバージョン。コンポーネントの歪計測

トランスミッター電源

シャフト取り付けトランスミッターおよび一部のセンサータイプは電源を必要とします。この電源はバッテリーまたは電磁結合に

よって供給できます。特殊アプリケーションの場合、光電源が 3 番目に可能な電源となります。

	<p>バッテリー電源 - 多くを要求しない環境での短期間計測プロジェクトの場合、トランスミッター用バッテリー電源が簡単かつ低コストの解決策です。バッテリー電源の利点は最大電送範囲-シャフトから静止ピックアップ部までの距離-が誘導電源システムよりも大きいことです。通常、150~200mm です。</p> <p>バッテリートランスミッター電源はシステム“A”では標準ですが、システム“C”ではオプションとなっています。</p>
<p>3P3 サイズバッテリーハウジング BU5 は標準システム“A”とともに提供され、分割リングシャフトクランプアセンブリ-TX.MTGS のバッテリーバージョンは標準システム“C”で使用可能です。TX.MTGS には 2 個の 1/2 AA リチウム電池が収納されています。</p>	

<p>電磁結合 - 頑丈であり、動作条件に左右されない電磁結合はトランスミッターに電力を供給する望ましい方式です。交番磁界が電力を静止誘導ヘッドまたはループからシャフトに取り付けられている第二ループへ転送します。同時に、データが同一コンポーネント全体に送り返されます。</p>	 <p>標準誘導電源コンポーネントには、誘導ヘッド IH2、ループインターフェース IL2 が異なるシャフト径に適合するループリングとともに収納されています。取り付けブラケットとケーブルも提供されます。</p>
---	--

 <p>マリントルクテレメトリブロップシャフト、ハロゲンランプ、太陽電池がトランスミッター電源となります。信号電送には赤外線が使用されます。</p>	<p>光電源 - 一部のマリンアプリケーションでは、低レベルであっても磁界の発生を避けなければなりません。赤外線データ信号電送とともに、トランスミッターに電力を供給する光電源技術の使用が解決策となります。</p>
--	---